



第4章 「終電10分前です!」ディスプレイが文字を出して気づかせる

Hello World! Node-REDお試しプログラミング

ラピッド
電子工作
Part3

桑野 雅彦 Masahiko Kuwano

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9

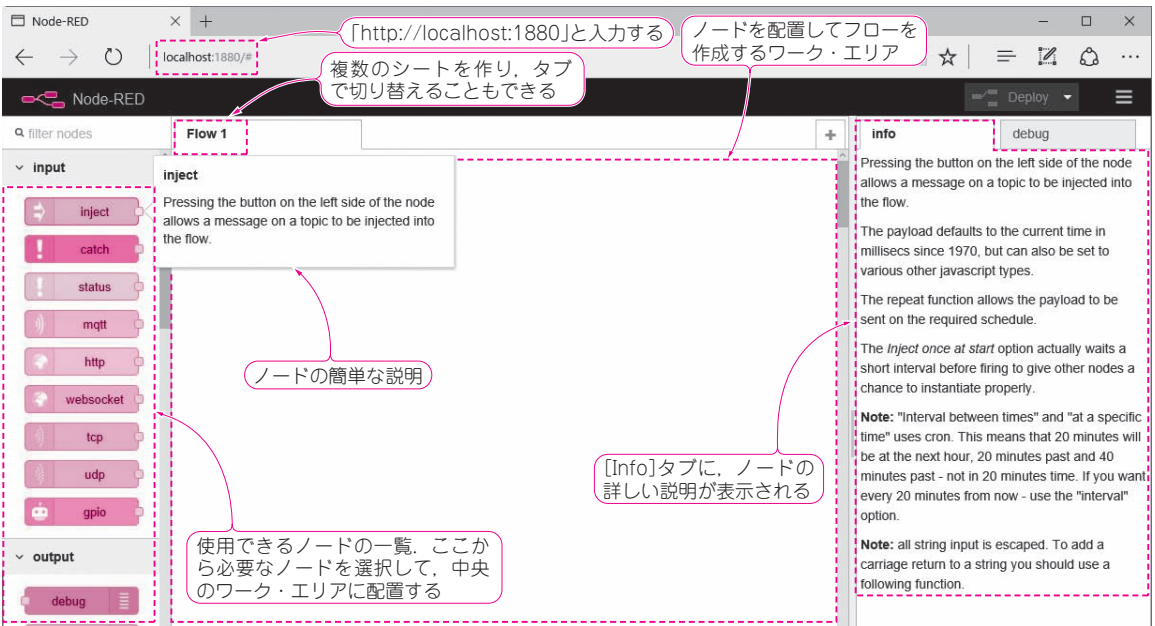


図1 Node-REDのデザイン画面
フロー内容の編集を行う

本章では、Node-REDを実際に動かします。Windows版を例に説明しますが、ラズベリー・パイでも手順は同じです。

ここではInjectノードを入力、Debugノードを出力とします。Injectノードからメッセージ・オブジェクトを出力し、Debugノードでその内容を表示するという、基本的な使い方をみていきます。

STEP1：デザイン画面を開く

● Node-REDを起動する

① コマンド・プロンプトを起動する

スタート・メニューから[Node.js command prompt]を選択してコマンド・プロンプトを起動します。

ラズベリー・パイでは、通常どおりログインします。

デフォルトのユーザ名とパスワードは次の通りです。

- ユーザ名 : pi
- パスワード : raspberry

② .node-redディレクトリへ移動する

.node-redディレクトリに移動します。JSONファイル(Node-REDのフロー内容を保存するファイル)が、デフォルトだと.node-redディレクトリの下に作られるためです。移動しなくても起動しますが、ファイルの管理を考慮すると実験時は.node-redディレクトリに移動しておいた方が便利です。

Windows版で任意の場所にJSONファイルを作成したいときは、絶対パスで指定します。ラズベリー・パイ(Linux版)では、相対パスでも指定できます。

③ Node-REDの起動

テスト用のフロー内容を保存したJSONファイルの